



# 29 南東北インターハイ NEWS

H28. 10. 14 No.17

## 「2016 情熱疾走 中国総体」優勝報告!!第2弾

### 福島工業高校 穴戸大輔選手 (ウエイトリフティング競技)

#### 77kg級 スナッチ・クリーン&ジャーク・トータル完全優勝!!

ウエイトリフティング競技77kg級で優勝した穴戸大輔選手が、9月12日(月)に優勝報告のため県庁を訪れ、内堀雅雄県知事や鈴木淳一県教育長と懇談をしました。県結団式時に決意表明を行ったのが穴戸大輔選手で「悔いのない大会になるよう、精一杯頑張りたい。」の言葉の通り、有言実行で完全優勝を果たしました。

福島工業高校 松本明倫校長、顧問 渡部靖教諭が同行しました。穴戸選手は終始笑顔で「岩手国体では、優勝と高校新記録を目標に練習に取り組んでいきたい。」、渡部教諭は「いつも笑顔でメンタル面も強い選手である。国体でも優勝できるように怪我なく取り組んでいきたい。」と次の大会への意欲を語ってくれました。



県知事と懇談する穴戸選手



県知事表敬



県教育長表敬

### 富岡・ふたば未来学園高校 バドミントン競技

#### 女子団体・男子シングルス・女子シングルス優勝!!

9月27日(火)、バドミントン競技において、女子団体・男子シングルス・女子シングルスで優勝した富岡・ふたば未来高校の選手6名(山澤直貴選手・吾妻咲弥選手・永井瀬勇選手・由良なぎさ選手・水井ひらり選手・福本真恵七選手)と富岡高校 山崎雅弘校長、ふたば未来学園高校 丹野純一校長、顧問 大堀均教諭の計9名が優勝報告のため県庁を訪れ、内堀雅雄県知事や鈴木淳一県教育長と懇談をしました。

山澤直貴選手は「富岡として最後、団体準優勝とこの結果を成しえることが出来たのは県民の皆さんの支援と応援のお陰だと感謝している。将来の夢としてはオリンピックでメダリストになれるよう努力していきたい。」と抱負を語ってくれました。内堀知事から「優勝おめでとうというより、優勝ありがとうという気持ちである。限界を自分で作らず目標に向かって進んでいって欲しい。」、鈴木教育長からは「富岡高校からの伝統を胸に精進して欲しい。」と激励の言葉がありました。大堀教諭は「地域の方々の支えがあるから今の自分たちがいることを感謝している。富岡高校としての出場は最後となったが、新人戦からふたば未来学園高校が強豪校となっていけるよう1戦1戦を戦っていきたい。」と、感慨深げに話されました。

県知事表敬

県教育長表敬

富岡高校三年生 山澤選手・吾妻選手



## 平成28年度「ふくしまで一緒にやろう！」プロジェクト!!

### 福島県高体連ヨット専門部



8月20日(土)～8月21日(日)の2日間、山形県立加茂水産高校を招聘して強化合宿を実施しました。1日目はあいにくの土砂降りでも強く吹いていたため、艦装準備にてこずる場面も見られましたが、自由走行をしている内に湖の状況に慣れ、練習では実際のセーリング競技のようにマークブイを設置して競技コースの設営を行いました。若干の日差しと共に虹がクッキリと映りだしてとてもきれいでした。二日目は天候に恵まれて、晴天の下での練習となりました。

10艇ほどが一堂に集まっている様はとても見ごたえがあり、選手たちは互いにライバル心を持ちながら質の高い練習ができました。練習後は、郡山ヨットクラブの方々から昼食の差し入れを頂きました。たくさんの方々を支えられていることに感謝しながら合宿を終えることができました。来年開催される南東北インターハイに向けて東北の活躍を見せていきたいと思ひます。



### 福島県高体連弓道専門部



9月3日(土)～4日(日)の2日間、会津藩校日新館弓道場にて、新潟県から6校(指導者6名、高校生65名)を招聘し、県内8校(90名)が参加して交流試合を実施しました。団体戦はトーナメント形式、個人戦は12射の総的中数で競い、個々の課題と向き合いながら緊張感のある試合を行うことができ、夏休み中の練習の成果を確認するよい機会になりました。

各校とも秋の新人戦に向けて新チームを立ち上げたばかりでしたが、試合形式の練習を行うことができ幸先のよいスタートを切ることができました。今後、各校で練習を積み上げて、年末の全国選抜大会や来年度の南東北インターハイなどの全国大会で上位入賞できるよう頑張っていきたいと思ひます。



# 繋がる絆 魅せる僕らの若さ

問い合わせ先 福島県教育庁健康教育課全国高校総体推進室  
〒960-8043 福島市中町8番2号 県自治会館3階 Tel: 024(521)8672